

第 73 号

平成 26 年 1 月 19 日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS

謹賀新年 “サッカーファミリーと心をひとつに”

挑戦・更なる飛躍!

—スマイル&チャレンジ—

新年にあたって



公益財団法人 日本サッカー協会
会長 大仁 邦 彌

新潟のサッカーファミリーの皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年の皇后杯は、アルビレックス新潟レディースが大躍進し、2度目の決勝戦進出を果たしました。決勝は、4連覇を目指すINAC神戸レオネッサとの優勝争いとなり、延長戦にもつれ込む白熱のゲームとなりました。・打倒I神戸を誓い、懸命に戦う選手たちのプレーを、県民の皆さんも固唾を飲んで見守ったことと思います。残念ながらPK戦で破れ、初優勝は逃しましたが、その素晴らしい戦いぶりに県民の皆さんは大きな期待を抱かれたのではないのでしょうか。その熱狂が、新潟のサッカーの拡大やフットサルなどのさらなる盛り上がりにつながればと思っております。

今年、ブラジル大会に先駆けて、U-17日本女子代表も3月に世界大会に臨みますし、なでしこジャパンやU-21、U-19、U-16日本代表、フットサル、ビーチサッカー代表もそれぞれアジアの大会が控えております。アジアも益々厳しくなりませんが、良い結果を残せるよう全力を尽くします。

そして、日本のスポーツ界が総力を上げて招致活動に取り組んだ2020年のオリンピックが期待されると思っております。

自国開催ですから、もちろん、メダル獲得が期待されると思っております。

1964年の東京オリンピックが日本に近代化をもたらしたように、2020年大会は、国民一人ひとりの生活にスポーツを根付かせる起爆剤になるに違いありません。そのためには、サッカーのレベルアップのみならず、組織の強化にも全力を尽くしてまいります。

2005年宣言の中で、2015年までに世界トップ10の組織になることを約束してまいりました。新潟県サッカー協会もJFAのそれに連動し、「NiFAの目標2015」で「新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる」、「Jリーグ、Lリーグに新潟出身プレイヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する」県内の各地にサッカースタジアムがある」など6つの目標を掲げています。その約束の期限が1年後に迫っておりますので、お互いこれまでの検証をしながら、さらなる発展を目指してまいります。

さて、今年はいよいよワールドカップイヤーです。本大会グループステージの組み合わせも決まり、これから、そこに照準を合わせた本格的な準備が始まります。厳しい戦いになるでしょうが、全国の皆さんの期待に添うことができると万全の態勢で臨みたいと思っております。

皆様におかれましては良いお年をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

さて、当協会は昨年創立65周年を迎え盛大に式典・祝賀会を開催し、また数々の記念事業に取り組んできたところであります。すでに輝く未来に向かって新しい第一歩を踏み出したところであります。ご承知の通り今や県内のサッカー

文化は急速に振興されることを契機にし、日本のスポーツ界も大きく変わろうとしております。世界で勝てる選手・チーム作りも大切ですが、この機会に世界から遅れをとっていないスポーツとともに歩む社会作りにも努めるべきであると思っております。

スポーツは心も身体も健康にし社会を明るくしてくれれます。当然ながら、当協会では従来からの強化面にお

る積極的な取り組みを更に推進するとともにこの機会にスポーツをして楽しむことの大切さを積極的に啓蒙し推進していきたくと思っております。それには、以前から申し上げている通り元気なキッズや少年たち、レディーズ・ママさん・パパさん・障害者など中高年層へのエンジョイサッカーを更に普及させ、促進することであると認識しております。まさに「2007年宣言の推進」であり、具体的には、登録会員の皆様はじめ、地区協会、市町村協会、自治体をはじめとする行政機関、そしてアルビレックス新潟との

スポーツ界をリードする存在として社会に貢献していきましょう。新潟のサッカーファミリーの皆さんは日本サッカーの発展を担う大切な存在です。今年もキッズからシニアまで、新潟の人々がスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができるよう、祈っております。



”日本スポーツ界の幕開けに期待“
一般社団法人 新潟県サッカー協会
会長 澤村 哲 郎

明けておめでとうございませう。

文化は急速に振興されることを契機にし、日本のスポーツ界も大きく変わろうとしております。世界で勝てる選手・チーム作りも大切ですが、この機会に世界から遅れをとっていないスポーツとともに歩む社会作りにも努めるべきであると思っております。

スポーツは心も身体も健康にし社会を明るくしてくれれます。当然ながら、当協会では従来からの強化面にお

る積極的な取り組みを更に推進するとともにこの機会にスポーツをして楽しむことの大切さを積極的に啓蒙し推進していきたくと思っております。それには、以前から申し上げている通り元気なキッズや少年たち、レディーズ・ママさん・パパさん・障害者など中高年層へのエンジョイサッカーを更に普及させ、促進することであると認識しております。まさに「2007年宣言の推進」であり、具体的には、登録会員の皆様はじめ、地区協会、市町村協会、自治体をはじめとする行政機関、そしてアルビレックス新潟との

連携を深めるとともに、推進母体である県協会の各委員会、各種別のこれまで以上の事業推進が必要で、当然ながら、事業を推進するにはそれに伴う予算が確保されなければなりません。有難いことに日本サッカー協会でもその重要性を認識し、例年予算措置をとっていただいておりますが、当協会でも更に予算増を考えていきたいと思います。皆様から良いご意見がございましたら是非お聞かせいただきたくと思っております。

さて、アルビレックス新潟が誕生し今年で20年が経ち、今や県民が大きな存在となりました。このことは、苦難の中アルビレックス新潟自体の並々ならぬご努力の賜物であると思っておりますが、同時に多くの県民の皆様のおかげで支えが広がったことでもあります。財政面に厳しい中ではありますが、皆さんとともに夢を追い全国に誇れる地域に密着したチームに



株式会社アルビレックス新潟
代表取締役社長 田村 貢

明けましておめでとうございます。日頃より新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様から、アルビレックス新潟に対して多大なるご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

逆転で J1 残留を果たした 2012 年はアルビレックス新潟にとって大事な一年でありました。トップチームは新たに田中達也、成岡翔、キム・クナンら実績ある選手に加え、期限付き移籍していた岡山でゴールを量産した川又堅基が新潟に復帰、またブラジル一部リーグで活躍していたレオ・シルバなどをチームに加え、大きな飛躍を目指してまいりました。柳下正明監督のもと、チームを構築するキャンプの段階からじっくりと腰をすえた準備を行い、十分な手応えをもってシーズン開幕に臨むことができました。

開幕戦から十分な手応えを感じながら結果を得ることはできませんでしたが、チームの目指す方向性に間違いはないと、堅基選手がベストイシューとサポーターをしていくことをクルバ選手が J1 リーグ全体が確認をしながらしました。実際、中断期に秋田でキャンプを行い、チームはさらにたくましくと勢いを増したように感じます。中断明けたが、昨年末の皇杯全日本女子サッカー選手権大会では強豪を次々と打ち破り、2 年ぶりに決勝に進出。代表選手を多く抱える INAC 神戸に對しても一歩引かない勇敢な戦いで肉薄しました。惜しくも PK 戦で涙を飲みましたが、トップチーム同様に諦めない粘り強いスタイルは、準優勝という結果以上に多くの称賛を集めています。また、アカデミー組織も、地域の皆様の代表として、ユース、ジュニアユース、ジュニア、レディース U18 とそれぞれが全国大会で、「新潟」の名に恥じない戦いを披露してくれました。

性には間違いはないと、堅基選手がベストイシューとサポーターをしていくことをクルバ選手が J1 リーグ全体が確認をしながらしました。実際、中断期に秋田でキャンプを行い、チームはさらにたくましくと勢いを増したように感じます。中断明けたが、昨年末の皇杯全日本女子サッカー選手権大会では強豪を次々と打ち破り、2 年ぶりに決勝に進出。代表選手を多く抱える INAC 神戸に對しても一歩引かない勇敢な戦いで肉薄しました。惜しくも PK 戦で涙を飲みましたが、トップチーム同様に諦めない粘り強いスタイルは、準優勝という結果以上に多くの称賛を集めています。また、アカデミー組織も、地域の皆様の代表として、ユース、ジュニアユース、ジュニア、レディース U18 とそれぞれが全国大会で、「新潟」の名に恥じない戦いを披露してくれました。

の皆様、県内のサッカー関係者の皆様、株主・スポンサーやクラブに関わる皆様のご支援・ご協力を賜ったものと、深く感謝を申し上げます。2014 年は、皆様のご期待・ご声援にお応えできるよう、各カテゴリーでさらなる飛躍を目指していきたくと考えています。

アルビレックス新潟は 2014 年も、「ひとづくり」「豊かなスポーツ文化の創造」のクラブコンセプトに基づき、地域の皆様に愛されるクラブづくりによりいっそう進んでまいりたいと考えております。自治体の皆様、新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様、株主・スポンサーの皆様、ボランテアの皆様、そしていつもチームをあたたく支えてくださるサポーターの皆様のお力をお借りしながら、新潟のサッカーのさらなる発展・普及に貢献してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



女子委員会新潟地区の活動

女子委員会新潟地区委員長 佐野 裕子

女子委員会新潟地区の活動に沢山の皆様のお力添えを頂きました。2014 年は、皆様のご期待・ご声援にお応えできるよう、各カテゴリーでさらなる飛躍を目指していきたくと考えています。

書面で大変失礼ではございますが、関わって下さいました全ての皆様のおかげとお礼申し上げます。

○「第 13 回新潟県女子 U-12・8 人制サッカー大会」

7 月 6 日・7 日、鳥屋野球技場とグラッセナ新潟サッカースタジアムにて開催されました。

8 チームの参加があり、リーグ戦及び順位決定戦を行いました。小学生のサッカーをする機会を増やし、同年代の仲間に出会うことでサッカーへの関心を高めてもらい、女子の普及につながればと願っております。

優勝 II グランセナ新潟 FC ガールズ
準優勝 II 新潟東 C I U b L e g g e r a



この年代のサッカー人口が増えることに期待し、生涯スポーツとして楽しんで頂きたいと思っております。

優勝 II 長野フレンズ (長野県代表)

準優勝 II FC・TON レディース (石川県代表)

○「第 7 回女子初蹴りフットサルフェスティバル」

1 月 11 日 (一般の部) 13 日 (U-12) 開催しました。

新潟の冬はサッカーをするには厳しい気象条件と、冬休みやお正月の鈍った身体を動かそうと始まり毎年恒例となりました。

フットサルは勿論のこと、色々なチームとの交流も楽しんで頂きたいと思っております。

寒い時期ではありませんが、参加する選手、スタッフ、応援するサポーターまでもが楽しんでいきます。来年以降も開催しますので、参加をお待ちしています。

本年も女子サッカーの普及と、新潟地区の活動が活発になるよう取り組んでいきますので、よろしくお願ひいたします。

女子委員会下越地区の活動

女子委員会下越地区委員長 榎本 恵子



下越地区サッカー協会では、アルビレックス新潟レディース(なでしこリーグ)、JAP AN サッカーカレッジレディース(チャレンジャーリーグ)、開志学園 JSC 高等部(高校)、アルビレックス新潟レディース U-18(クラブ中学)の 5 つの女子チームが活動しています。年間を通じて活動しているカテゴリーは違いますが、聖籠町にある JAPAN サッカーカレッジのグン、16 チーム中 10 位にラウンドおよび新潟聖籠スポーツセンターアルビレックスを中心に、日々トレーニングに励んでいます。

アルビレックス新潟レディースにおいては、リーグ戦は 10 チーム中 8 位と悔しい結果でしたが、昨年末に開催された第 35 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会において、決勝戦へ進出し、女王チームとして名高い INAC 神戸レオネッサを PK 戦まで追い詰める激闘を繰り広げ、新潟県女子サッカーの底力を発揮することができました。下部組織であるレディース U-18 は、1 月 3 日から開催された第 17 回全日本女子ユースサッカー選手権大会では、アルビレックス新潟レディース(なでしこリーグ)、JAP AN サッカーカレッジレディース(チャレンジャーリーグ)、開志学園 JSC 高等部(高校)、アルビレックス新潟レディース U-18(クラブ中学)の 5 つの女子チームが活動しています。年間を通じて活動しているカテゴリーは違いますが、聖籠町にある JAPAN サッカーカレッジのグン、16 チーム中 10 位にラウンドおよび新潟聖籠スポーツセンターアルビレックスを中心に、日々トレーニングに励んでいます。

アルビレックス新潟レディースにおいては、リーグ戦は 10 チーム中 8 位と悔しい結果でしたが、昨年末に開催された第 35 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会において、決勝戦へ進出し、女王チームとして名高い INAC 神戸レオネッサを PK 戦まで追い詰める激闘を繰り広げ、新潟県女子サッカーの底力を発揮することができました。下部組織であるレディース U-18 は、1 月 3 日から開催された第 17 回全日本女子ユースサッカー選手権大会では、アルビレックス新潟レディース(なでしこリーグ)、JAP AN サッカーカレッジレディース(チャレンジャーリーグ)、開志学園 JSC 高等部(高校)、アルビレックス新潟レディース U-18(クラブ中学)の 5 つの女子チームが活動しています。年間を通じて活動しているカテゴリーは違いますが、聖籠町にある JAPAN サッカーカレッジのグン、16 チーム中 10 位にラウンドおよび新潟聖籠スポーツセンターアルビレックスを中心に、日々トレーニングに励んでいます。

●● スマイル & チャレンジ ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN 新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007 年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

東日本大震災 復興支援

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!



アルビレックス新潟
監督 柳 下 正 明

明けましておめでと
うございます。日頃
より新潟県サッカー協
会ならびに新潟県内の
サッカー関係者の皆様
におかれましては、多
大なるご支援・ご声援
を賜り、厚く御礼申し
上げます。

2012年、選手
たちはトレーニングで
行っていることを吸収
し、残留を果たしまし
た。2013年は、こ
の2012年に浸透し
た戦いに、さらに選手
の質を上げること、新

しく入る選手によって
チーム力を高めるこ
とを目標にしていまし
た。前線からアグレッシ
ブに、自分たちで
ボールを奪い、ボール
を運んでゴールを決め
るといふサッカーを目
指しました。

2013年を振り返
ると、シーズンを通し
て非常にいいゲームを
していたと思います。
開幕戦のセレッソ大阪
戦は0-1と敗戦しまし
ましたが非常に手応え
を感じましたし、それ
以外、一歩足が出る原動
力がかかっています。

その中でホーム9連
勝という記録もありま
した。特別に意識はし
ていないのですが、相
手にとってはビッグス
ワンでやるのは相当圧
力がかかっています。
サポーターの皆さん
の応援、サポートには
いつも感謝しています。
2014年はさらに
チーム力を上げ、もっ

力にもなる。そういう
状況を作ってくれるサ
ポーターには感謝をし
ています。
もちろん、サッカー
において完璧という
ことはあり得ません。
2013年もいいゲー
ムはしましたが、まだ
ミスは多い。2014
年はそのミスをできる
だけ少なくする、質を
上げることをまず考え
ていきます。そういう
細かなミスをクリアで
きていけば、もっと強
いチームにアルビレッ
クス新潟はなります。

サポーターの皆さん
の応援、サポートの皆さ
ん、関係者の皆さんの
声援、サポートにはい
つも感謝しています。
2014年はさらに
チーム力を上げ、もっ

と皆さんと喜びと感動
を共有できるシーズン
にしたいと思えます。
新潟県サッカー協会は
じめ、新潟のサッカー
に関わる皆様には、ア
ルビレックス新潟に本
年も変わらぬご支援・
ご声援をよろしくお願
い申し上げます。



アルビレックス新潟レディース
監督 能 仲 太 司

明けましておめでと
うございます。

新潟県サッカー協
会ならびに新潟県内の
サッカー関係者の皆様
におかれましては、多
大なるご支援・ご声援
を賜り、厚く御礼申し
上げます。

アルビレックス新潟
レディースを率いての
一年目を終え、リーグ
戦8位、リーグカップ
グループリーグ敗退、
皇后杯準優勝と目標に
していた日本一を手に
することが出来ずに、

悔しい思いが残る一年
でした。

思うような結果が残
せな一年ではありま
したが、チームの調子
が上がらない中でも、
ご支援、ご声援頂いた
新潟県サッカー関係者
の皆様、サポーター
の皆様、選手受け入れ
の先企業の皆様、スポン
サー各社様に心より御
礼申し上げますと思い
ます。

チームとしては、対
戦相手と試合展開を見
ながら、ピッチで戦

しかし、結果が出ず、
苦しい時期が続いた中
でも、選手は最後まで
戦い続け、皇后杯では

力にもなる。そういう
状況を作ってくれるサ
ポーターには感謝をし
ています。
もちろん、サッカー
において完璧という
ことはあり得ません。
2013年もいいゲー
ムはしましたが、まだ
ミスは多い。2014
年はそのミスをできる
だけ少なくする、質を
上げることをまず考え
ていきます。そういう
細かなミスをクリアで
きていけば、もっと強
いチームにアルビレッ
クス新潟はなります。

決勝まで勝ち進み、女
王INAC神戸に対
し、チーム一丸とな
り、新潟らしさ、アル
ビレックスらしさを表
現し、最後の最後まで
戦った姿勢は今年に繋
がると思えます。そし
て、応援してくださる
方々に僅かながらでも
恩返し出来た試合だっ
たと思えます。

優勝まであと一歩及
ばなかった自分達の足
りない部分と昨年の悔
しい気持ちを忘れるこ
となく、今年はリーグ
と皇后杯の両方で良い
結果が残せるよう戦っ
ていきたいと思いま
す。

新潟県サッカー協
会ならびに新潟県内の
サッカー関係者の皆様
におかれましては、多
大なるご支援・ご声援
を賜り、厚く御礼申し
上げます。

アルビレックス新潟
レディースを率いての
一年目を終え、リーグ
戦8位、リーグカップ
グループリーグ敗退、
皇后杯準優勝と目標に
していた日本一を手に
することが出来ずに、

悔しい思いが残る一年
でした。

思うような結果が残
せな一年ではありま
したが、チームの調子
が上がらない中でも、
ご支援、ご声援頂いた
新潟県サッカー関係者
の皆様、サポーター
の皆様、選手受け入れ
の先企業の皆様、スポン
サー各社様に心より御
礼申し上げますと思い
ます。

チームとしては、対
戦相手と試合展開を見
ながら、ピッチで戦

しかし、結果が出ず、
苦しい時期が続いた中
でも、選手は最後まで
戦い続け、皇后杯では

力にもなる。そういう
状況を作ってくれるサ
ポーターには感謝をし
ています。
もちろん、サッカー
において完璧という
ことはあり得ません。
2013年もいいゲー
ムはしましたが、まだ
ミスは多い。2014
年はそのミスをできる
だけ少なくする、質を
上げることをまず考え
ていきます。そういう
細かなミスをクリアで
きていけば、もっと強
いチームにアルビレッ
クス新潟はなります。

決勝まで勝ち進み、女
王INAC神戸に対
し、チーム一丸とな
り、新潟らしさ、アル
ビレックスらしさを表
現し、最後の最後まで
戦った姿勢は今年に繋
がると思えます。そし
て、応援してくださる
方々に僅かながらでも
恩返し出来た試合だっ
たと思えます。

優勝まであと一歩及
ばなかった自分達の足
りない部分と昨年の悔
しい気持ちを忘れるこ
となく、今年はリーグ
と皇后杯の両方で良い
結果が残せるよう戦っ
ていきたいと思いま
す。



夢

ぼくのわたしの

私の夢 ~日本代表を目指して!!~

FC 五十嵐ジュニアユース 梶山 幹太

私の夢は、日本代表になって海外のビッククラブでプレーすることです。この夢を私は、小さい時からずっと思い続けてきました。

私は、2人の兄がサッカーをやっていたので、3歳から練習についていてやっていました。小学校で浜浦に所属し本格的にサッカーを始めました。そこでは、サッカーを楽しむことやドリブルを特に教えてもらいました。中学校では、FC 五十嵐に所属し、サッカー選手にとって大切な礼儀、姿勢と、守備の大事さを特に教えてもらいました。

私は、この夢を絶対に達成できると信じています。そして、後は、この夢に向かって努力するだけだと思います。努力は、裏切らないと思います。私を応援してくれる人のためにも今以上の努力を積み重ね、1つ1つ夢に近づいていきたいと思っています。

初の全国大会 ~日本一を目指して!!~

長岡 JYFC U-12 主将 石岡 春人

ぼくは、今年の夏に新潟県代表として全日本少年サッカー大会に挑みました。初出場だったので緊張や不安もありました。しかし、チームのみんなで気持ちをひとつにして、新潟県代表の誇りを持って大会にのぞみました。目標はもちろん日本一になることでした。

ぼくのポジションはディフェンダーです。後ろからチームのバランスをとることを意識してプレーしました。ぼくはキャプテンとして責任を果たそうと声をかけたり、プレーでみんなを引っばりました。

一次予選では、無事勝ち進むことができましたが二次予選では残念ながら負けてしまいました。ものすごく悔しかったです。でも今までやってきたものが全部出し切れたとぼくは感じたので少し嬉しかったです。

ぼくたちは、全国大会で色々な事を学びました。この経験をいかして、また全国大会の舞台に立てるように頑張っていこうと思います。

将来の夢 ~サッカー選手に!!~

グランセナ新潟FC ガールズ 山内 雪音

わたしの夢は、サッカー選手になることです。サッカー選手になるために、日々サッカーの練習を頑張っています。わたしが目標にしている選手は、長友選手です。体力があるし、1対1も強い選手だからです。わたしも体力をつけて、ドリブルの練習をたくさんして、長友選手のように1対1で勝てるようになりたいです。そしてシュートも強くうてるようになりたいです。コントロールもよくして、遠くからうってゴールをきめられる選手になれるように、シュート練習もがんばりたいです。

僕の夢 ~県大会優勝を目指して!!~

上山中学校 2年 入山 慶斗

僕の将来の夢は「プロサッカー選手」です。しかし、今の一番の夢は、先輩方が達成できなかった県大会優勝です。上山中学校は「誰からも愛される部活動」を活動方針として「北信越大会出場」を目標にしてきました。先輩方はその目標を達成し、全国大会まであと一歩のところまで進むことができました。僕たち新チームは先輩方の目標を超える「県大会優勝」を新しい目標として活動をしています。

僕は昨年、北信越大会を経験させてもらい多くのことを学ぶことができました。試合では納得のいくようなプレーができず、悔しさが残りましたが、目標に向かって努力することの大切さを学ぶことができました。また、サッカーができるのも保護者を始め、多くのサポートがあるからこそなんだということあらためて感じる事ができました。今は目標に向かって冬の走り込み等、この時期だからこそできることを真剣に取り組み、サッカー部の仲間と目標達成に向けて頑張っていきたいです。

僕の夢 ~全国大会出場!!~

南浜中学校サッカー部主将 中村 達哉

僕には夢があります。軽い気持ちの夢ではなく、必ず叶えたいという強い気持ちの夢です。それは『全国大会出場』です。

今年、南浜中学校は県大会で優勝し、北信越大会まで進むことができました。僕は市内大会から北信越大会までメンバーとしてベンチに入り、試合に出場させてもらいました。そして2年生で北信越大会という舞台まで経験させてもらいました。これはそうそうできる経験ではないので、この経験を自分たちの代でしっかりといかしていきたいです。

しかし経験だけでは、県・北信越・全国へと駒を進めるのは難しいと思います。チームで一つになり、『全国大会出場』を合言葉に、普段の練習に厳しく取り組まなければいけないと思います。この僕の夢はみんなの夢でもあります。この夢を仲間とともに必死になって追い求め、必ず掴み取りたいと思います。



障がい者チーム紹介

1996年、大橋を中心に学生時代の友人とPALRABOX（健常者で構成。身障者は大橋のみ）を結成。その後、障がい者メンバーだけでのチームPARABOXを結成。半年

後、健常者・障がい者という線引きに違和感を抱き、PALRABOXと変え、融合。

改め、本当の意味で健常者も障がい者も同じ場所、同じメニューでの練習をすることになる。

当然ながら大会等の試合では、どんなチームが相手だろうが「ウチはこういう特別なチーム編成なので…」ということは絶対に（自ら）言わないことになっていて、相手が加減したり、特別な配慮をさせないよう常に心掛けています。「サッカーというスポーツだからこそ、ウチのようなチーム編成が可能でむしろ必要なこと。」だとメンバー一人ひとりが自覚を持ち17年間継続し活動してきました。

更に他のチームと違う点が障がいの種別をしなないことも特色の一つで、肢体不自由に加え聴覚障害、知的障害等のメンバーが共に共通理解をしながらかサッカーを楽しんでいます。

「むしろサッカーするのに種別が必要とすること自体、偏見そのもの。」だと思ひ継続させてきました。

残念ながら競技志向だけであったり、周りを見れない人間には「他で（チーム）やってくれ！サッカーチームは腐るほどあるから。」と人選にも決して甘くありません。興味本位だけで所属できるチームではなくメンバー意志、共通意識・相互理解が最も重要で誰でも入部できるといったエンジョイスoccerだけでないことが理念でもある。

現在では障がい者10名、健常者21名、計31名で週一回の活動をしています。その他の活動として月1で障がい者・児を対象としたフットサル教室を市内の障がい者交流センターで（屋内）7年間、行っています。年に1回、障がい者・児に「天然芝の上で思う存分、サッカーを楽しんでもらいたい！」と県内の施設で大会を主催しています。

今後の課題としては、特に変化を求めることはなく、更なる共通意識・相互理解に努め絆を強めて誰もがサッカーを楽しめる環境づくりを目指すことです。

サッカーの上手い下手に関係なく誰もがサッカーを楽しめる環境を創っていくことこそがPALRABOXの使命であると今後も変わることなく、メンバー一丸となって継続していきます。それにはまず、私たちが本気で楽しんでいくことが最重要・最前提だと感じています。



『PALRABOX（パラボックス）』は障がい者・健常者が一緒に楽しんでいるサッカーチームです。

参加対象者	身体障がいを持ち、サッカーに興味がある方 健常者で、障がい者サッカーに興味がある方
代表者	大橋 佳介（元 脳性麻痺7人制サッカー日本代表）
練習場所	新潟県立江南高等特別支援学校 グラウンド （新潟県新潟市江南区北山 1510/JR 亀田駅東口より徒歩3分） 新潟ふれ愛プラザ （新潟県新潟市江南区亀田向陽 1-9-1/亀田駅東口すぐ）
練習日時	毎週日曜日 午後1時半～4時半
設立	1996年
メンバー	24人（うち肢体不自由6人、聴覚障害3人、知的障害1人）
活動内容	サッカーの練習、サッカー・フットサル大会への参加、 サッカー教室の開催・支援、交流イベントの開催・参加
連絡先	palradox@hotmail.com
ウェブサイト	http://www10.plala.or.jp/palradox/

【最近の活動】

- ・2013年6月 新潟市民サッカー大会に参加
- ・2013年6月 新潟県サッカー協会主催の障害者サッカー大会に参加
- ・2013年8月 代表の大橋が新潟ドリブラにプレゼンターとして参加
- ・2013年9月 障害児チャレンジサッカー 2013開催（新潟聖籠スポーツセンター アルビレージにて）
- ・2013年9月 新潟県サッカー協会創立65周年記念式典にて代表の大橋が特別賞を受賞
- ・2013年10月 富山アマミザードサッカー大会に参加



(2013年9月開催の障害児チャレンジサッカー2013)

全国への切符 ～全国大会では上位を目指して!!～

エスプリ長岡FC 渡辺 重夫

平成25年11月16日、17日に長野県千曲市で、JFA全農チビリンピック小学生8人制サッカーIN北信越兼第19回北信越少年サッカー新人大会が行われ、関係者の皆様および熱い保護者の皆さんのお陰で優勝する事ができました。本大会には新津カッブ5年生大会での優勝・準優勝の2チームに参加資格が与えられ、北信越大会には北信越5県の代表チームが集まり優勝すると6月の5月に日産スタジアムで行われる全国大会に参加できます。

新潟県内での地区予選も含め、全ての試合において余裕など全くなく、最初の段階では「この仕上がりで大丈夫なのか？」と不安があつたものの、厳しい戦いをする度に最後まで諦めずに戦う子供達の成長している姿を見て「戦える！」という確信に変わっていききました。3ピリオド制で、登録された16名の選手全員が出場するという条件となつていたのですが、初めての試合方式だったため、選手はもろもろ監督である私も戸惑いを感じ苦労しました。

1ピリオドと2ピリオドの選手の組み合わせをどうすれば良いか？ポジションは？など普段の大会では体験できない悩みが直面したのですが、選手全員が普段の練習や交流戦で常に手くならうという高い意識を持って取り組んだり、代表やコーチ達の助言などもあり、北信越の各県を代表するチーム相手に総得点19失点3という結果に繋がったと思ひます。

今後は全国大会に向けて、お互いが更に刺激し合つて、もっともつと個々の力が出せる様な選手になってもらいたいと思ひます。全国大会には今回も含め、3年連続で新潟県代表が勝ち取つているという事からも、新潟県4種のレベルが上がつていると実感しました。

4種が盛り上がる事によって、新潟県内のサッカーの質も上がり、比べ多いこと、そして、全国47都道府県で唯一新潟県だけが県民体育館（アリーナ）が無いからです。この場をお借りし、新潟のフットサル界の振興に更なるご支援とご協力をお願いさせていただきます。

また、平成26年度から4種クラブとの交流をしたいと思つております。コーチ不足などでお困りのクラブがございましたら、是非お声掛けください。できる限りのサポートをさせていただきます。

新潟県は「フットサル大国」になれる潜在能力を秘めた県です。新潟モナルカは、その一助とな

全国の舞台に立ちたい！ 新潟の実力を全国に示したい！

新潟モナルカ 代表 水野健太郎

新潟県は、フットサル登録人数が全国屈指！新潟県は、北信越フットサルリーグ所属12クラブ中5クラブを抱えている！新潟県は、全日本フットサル選手権参加クラブ数が、東北・北信越地区で一番！

あることをご存知でしょうか？新潟モナルカは、サッカー国体（少年）経験者を中心に、フットサルを通じて新潟を明るく元気にしたいという理念を掲げ、2011年に創設された新興クラブです。お陰様で創立から3年目で、全日本フットサル選手権（以下、全

日）新潟県大会を2連覇することができました。この場をお借りし、日頃ご支援をいただいている皆様、そしてサポーターの皆様へ感謝の気持ちを込めてお礼を申し上げます。新潟モナルカは、昨年のリベリオンにおいてビークスに敗れ、全国への道を断たれました。その悔しさを胸に、この一年奮闘してきました。個人能力一辺倒であったチームが、フットサルの戦術を取り入れ、安定感を増しました。また、選手達が自発的にミーティングを重ね成長している姿は誇らしい一面です。

現在、新潟モナルカは、将来的なFリーグ参入を目指し活動していますが、課題は山積しています。クラブ経営面も然ることながら、施設面の問題に直面しています。新潟県内には、全国規模の大会を開催できる施設がありません。その理由は、フットサルを禁じている体育館が他県に

上のカテゴリーでも今までの以上に良い結果が出せると思ひます。最後になりましたが、今後も子供達の背中をしっかりと支えられる指導者を目指して精一杯取り組んでいきたいと思ひます。まだまだ未熟で不安定な部分も多いチームですが、チーム一丸となり、新潟県代表および北信越代表として、ただ参加するのではなく、全国大会では

の舞台に立ちたい！新潟の実力を全国に示したい！

大会参加者募集

- 【名称】 JFAレディース/ガールズサッカーフェスティバル2014新潟in聖籠
- 【主催】 (一社)新潟県サッカー協会
- 【対象】 幼稚園児・保育園児の女の子～一般女性（小学生以下男の子も可）サッカー初心者、チーム参加、個人参加、どちらでもOKお母さんも是非一緒に参加してください！
- 【期日】 2014年2月1日（土）
- 【参加費】 無料
- 【会場】 聖籠町民体育館
- 【内容】 1部：サッカークリニック 2部：フットサル大会
- 【問合先】 女子委員会下越地区委員 繁田 cups3@nsg.gr.jp
- 【締切】 2014年1月25日（土）

大会参加者募集

- 【名称】 JFAレディース/ガールズサッカーフェスティバル
- 【主催】 ～第7回新潟県レディース/ガールズフットサル大会in中越～
- 【種別】 (一社)新潟県サッカー協会
- 【種別】 女子U-12の部、女子一般の部
- 【期日】 2014年3月2日（日）
- 【参加費】 下記問合先までご連絡下さい
- 【会場】 長岡市みしま体育館
- 【問合先】 女子委員会中越地区委員長 清水 jgdpq413@ybb.ne.jp
- 【締切】 2014年2月3日（月）



バーモントカップ
第23回全日本少年フットサル大会

全国第3位!

2014年
準決勝
1月4日(土)~6日(月) 1月6日(月)
第23回全日本少年フットサル大会
ヴェールメリオ
トサル大会J星取表
ヴェールメリオ 2位
鹿島アントラーズ
6-9
ジュニア

一回戦
1月5日(日)
ヴェールメリオ
7PK5
7PK4
石井東フットボール
クラブ
11月10日(日)
ヴェールメリオ
8-4

バーモントカップ
第23回全日本少年
フットサル大会
新潟県大会(決勝)

決勝戦
8PK12
3位決定戦
8PK11
11月10日(日)
ジョイナスフット
ボールクラブ
4-2
エル・オウロ魚柏

バーモントカップ

全国への思い

ヴェールメリオ主将 谷内田 哲平

僕たちはバーモントカップで優勝することができました。自分たちのサッカーをその勝因が2つあります。みんなが自分たちのパスサッカーができるように考えてプレーしました。

一つ目はチームワークです。選抜が集まったメンバーなのでいつも一緒に練習しているわけではなく、月ごとに数回ある練習では声を掛け合いながら練習をしていました。そのため良いチームワークになりました。二つ目はパスをつな

審判委員会

AFC U-14 女子サッカー大会
審判コース2013に参加して
新潟大学 清藤 絵里

2013年を振り返り、審判委員会から二人のレポートを紹介します。まず一人目は女子審判員の清藤絵里(新潟大学)さんです。

清藤さんは AFC U-14 Girls Cup 2013 の審判員として日本協会からの指名を受け研修会に参加しました。もう一人は帝京長岡高校三年生の八木大地さんです。八木さんは県協会審判委員会の推薦で第37回全日本少年サッカー大会決勝大会に派遣されました。また、その後11月には全日本少年に参加したユース審判員の中から16名が選ばれ、JリーグREN界で「ブラッシュアップ講習会」が行われ、参加しました。

5月29日から6月10日まで、中国の北京で開催された「AFC U-14 GIRLS FOOTBALL TOURNAMENT 2013」に、審判の役割や、審判に求められる資質などについて、チームで話し合い、意見をまとめました。韓国、台湾、北朝鮮、グアム、北マリアナ諸島の7か国で、各国を代表する若き選手が集まり、熱戦が繰り広げられました。審判コースには、日本から2名、中国から6名、韓国から3名、台湾から1名の計12名が参加し、インストラクターの指導の下、約2週間の研修に臨みました。

大会が始まるまでの期間は、午前中に講習会、午後には映像を見ながら、英語での判定が行われ、参加しました。

大会期間中について
大会役員として服装などをしっかりやる。
選手以上に一生懸命、全力でやる。
素直な気持ちで判定して、失敗を恐れない。
選手にのびのびとプレーしてもらうためにレフェリーをする。

第37回全日本少年サッカー大会

ユース審判講習会(7/27~8/3)
帝京長岡高校3年 八木 大地

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

研修について

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

研修について
常にどこにでも走れる準備をする。
プレーヤーが何をしようか、何をしようかを考える。
タイムマネジメントをしつかりする。
「うまくならない!」という情熱を持ち続ける。

Be proud. 2試合と副審2試合を
担当しました。試合前は、極度の緊張とプレッシャーもありましたが、チームの仲間と協力して、お互いを鼓舞しながら、試合に臨みました。自分の未熟さにも、競技規則を正しく理解し、適切な対応をとることが必要なのだと思います。大会では、私は主審

これまでの経験したことを、この試合よりも、非常に緊迫した、厳しい戦いでした。試合を通して、多くの問題が生じ、うまく対応ができず、反省会をし、周りと共に学びました。試合後は、振り返り、自分自身に精いっぱい取り組むことができました。毎回の反省会を、周りと共に学びました。試合後は、振り返り、自分自身に精いっぱい取り組むことができました。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この研修を通して、この度は参加させていただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。



皇后杯

二年振り 二度目の準優勝!! アルビレックス新潟レディース



アルビレックス新潟レディース
キャプテン 上尾野辺めぐみ

結果は悔しいが、ある。自分の中では最後まで戦えたという事で次につながる試合だった。2年前の決勝では何もできずに終わっただが、今回は前半は相手にボールを回されすぎたが、後半、修正できて、チームとして成長していると感じられた。試合中は点を取りに行こう、前に行こうと話しながらプレーした。今回の決勝に比べれば、今回の準優勝の方が手応えがあるし、やり切った感はある。自分のなかではリーグ戦8位という結果が本心に悔しい。リーグと皇后杯では大会は違うが、今大会、チームとしてこういう戦いができたのは自信になるし、だからこそリーグでももっとやれたはずという悔しさもある。皇后杯で準優勝して良かった、で終わるのではなくリーグ8位という結果を忘れない。自覚を持ってみんなで作っていき

皇后杯 第35回全日本女子サッカー選手権大会 試合結果

- 1 回戦 アルビレックス新潟レディース 3-0 スペランツァ大阪高槻
- 2 回戦 アルビレックス新潟レディース 4-0 日テレ・ベレーザ
- 準決勝 アルビレックス新潟レディース 1-0 岡山湯郷Belle
- 決 勝 アルビレックス新潟レディース 2PK 4 INAC神戸レオネッサ 2PK 3

皇后杯 第35回全日本女子サッカー選手権大会 試合結果

- 1 回戦 JAPAN サッカーカレッジレディース 2-1 清水第八プレアデス
- 2 回戦 JAPAN サッカーカレッジレディース 0-4 早稲田大学

“チーム新潟” 年末年始、全国で大活躍!

- ベスト 4** バーモントカップ第 23 回全日本少年フットサル大会 **ヴェールメリオ**
- ベスト 8** 第 22 回全日本大学女子サッカー選手権大会 **新潟医療福祉大学**
- ベスト 8** 高円宮杯第 25 回全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会 **アルビレックス新潟ジュニアユース**
- ベスト 8** JOC ジュニアオリンピックカップ 第 17 回全日本女子ユースサッカー選手権大会 **アルビレックス新潟レディース U-18**
- ベスト 16** 第 62 回全日本大学サッカー選手権大会 **新潟経営大学**

- 高円宮杯 U-18 プレミアリーグ参入戦 試合結果
二回戦 アルビレックス新潟ユース 0-1 市立船橋高校
- 第92回全国高校サッカー選手権大会 試合結果
一回戦 帝京長岡高等学校 1-1 徳島市立高等学校 (2PK 3)

各地区協会訪問会議 サッカーファミリーの 拡大に向け更なる連携を!

専務理事 渡辺 滋

上越・中越・下越地区サッカー協会の訪問会議が下記の日程で開催されました。

上越地区：十二月六日(金)
上越市レインボーセンター

中越地区：十一月十五日(金)
アトリウム長岡

下越地区：十一月八日(金)
豊谷殿

各地区協会からは、各会場ともそれぞれの地区サッカー協会会長をはじめとする役員の皆様、地区協会を牽引する委員の皆様に出席いただき、訪問会議が開催されました。今年度は県協会からは「現状と課題」として組織概要・予算決算の体系・創立六十五周年記念事業の報告、現在取り組んでいる事業の報告などを中心にし、ご説明いたしました。

各地区協会からは、会議開催報告・加盟市町村の現状・チーム及び選手登録数・各種委員会の活動などの報告をいただきました。その中で、各々の活動と登録への方向付け、女子選手の育成と試合機会の創出などが取り上げられていました。また、新潟県の人口分布から、研修・講習会を各地区で開催し、常にサッ

カーファミリーの拡大に向け更なる連携を！

報告内容に照らしたものの、総合的な事項などが提起され、関連な意見交換が行われました。

各地区に共通している課題としては、登録チーム・選手の減少、指導者の不足と審判員の技術レベルの不足、未登録チームの増加、選手強化が進んでいない地区や新潟県の美しく長い海岸線をアピールするビルドアップの動きなど報告されました。

各地区協会とサッカーの動向、女子選手の育成と試合機会の創出などが取り上げられていました。また、新潟県の人口分布から、研修・講習会を各地区で開催し、常にサッ

するこの困難さ、地区によっては、学校登録チームの減少と選手の県外流出などの問題がでております。今後、県全体で考えていくべき課題であり、会議の中では、新たな施設の紹介や新規施設確保への取り組みなども報告されました。また、フットサルの普及と選手強化が進んでいる地区や新潟県の美しく長い海岸線をアピールするビルドアップの動きなど報告されました。



「新年会」 「新春講和会とトークショー」のご案内

日時 平成26年1月19日(日)14時~18時30分

場所 新潟グランドホテル

新春講和会 「常盤の間」 14時~

「日本代表はブラジルW杯でどこまで戦えるか」
講師 NHKサッカー解説者 山本昌邦氏

トークショー 15時10分~

アルビレックス新潟選手とのトークショー

報告と来期の抱負

アルビレックス新潟 監督 柳下正明氏
アルビレックス新潟レディース 監督 能伸太司氏

新年会 「悠久の間」 16時30分~18時30分